

令和 6 年度
自治会・町内会アンケート
報 告 書



京 都 市

調査期間：令和 6 年 11 月～令和 7 年 2 月

目次

第1章：調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の実施要領	1
3 調査票の配布・回収の状況	1
第2章：調査結果の概要	2
I 自治会・町内会の加入状況	2
1 自治会・町内会の加入率	2
2 自治会・町内会ごとの加入世帯数	3
II 自治会・町内会の状況について	5
1 住宅の構成について	5
2 子育て世帯の割合について	5
3 高齢世帯の割合について	6
4 新規転入者の加入状況について	6
5 外国籍世帯の加入状況について	7
III 町内会の運営状況について	7
1 未加入者や転入者への呼びかけ方法について	7
2 住民へ情報を伝える際に使う方法について	8
3 町内会の役員（会長、副会長、会計など）について	8
（1）役員の決め方について	8
（2）役員の任期について	9
（3）役員同士の連絡手段について	9
（4）各職務の役員の負担の度合について	10
4 町内会の運営課題や困りごと	11
5 未加入者や退会者が増えている要因	11
6 特に充実して取り組んでいる活動及び今後取り組みたい活動	12
IV 町内会の交流・親睦行事について	13
1 コロナ禍前と現在の町内行事の変化について	13
（1）地蔵盆	13
（2）地蔵盆以外の交流・親睦行事	13
2 交流・親睦行事を支える人や主体について	14
（1）地蔵盆	14
（2）地蔵盆以外の交流・親睦行事	14
3 地蔵盆を継続するうえでの懸念や課題について	15
4 地蔵盆の参加人数について	15

V	町内の日常の様子について	16
VI	回答者（町内会長）について	17
1	性別	17
2	年齢	17
3	役の兼務	18
4	現在の町内にお住いの期間	18
	(参考) 令和6年度 自治会・町内会アンケートの設問	19

第 1 章：調査の概要

1 調査の目的

京都市が、「京都市地域コミュニティ活性化推進条例」に基づいて、地域住民主体の取組を支援していくに当たり、地域コミュニティの中核である自治会・町内会の現状や課題を把握し、今後の施策づくりに役立てるため、本調査を実施したものである。

2 調査の実施要領

- 調査地域 京都市
- 調査対象 京都市内の自治会・町内会の代表者
- 調査方法 書面によるアンケート調査
(郵送回収、またはウェブフォームへの入力)
- 調査期間 令和 6 年 11 月～令和 7 年 2 月
- 調査項目 巻末のアンケート設問参照

3 調査票の配布・回収の状況

配布数	回答数（回答率）
6, 447 件	2, 862 件（44. 4%）

※令和 3 年度アンケートは、配布数 6, 213 件、回答数 3, 227 件（回答率 51. 9%）

＜この報告書の集計方法、数値の取り扱いについて＞

- 集計は百分率（%）によるものとし、集計結果は小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位までを表記している。
- 単数回答（選択肢を 1 つだけ選ぶ）設問の各選択肢の回答構成比の合計は、四捨五入の関係で 100. 0% にならない場合がある。また、複数回答（該当する選択肢をすべて選ぶ）設問の各選択肢の回答構成比の合計は 100. 0%を超える場合がある。
- グラフ中の「N=***」は集計母数（無回答を含む）を表している。

第2章：調査結果の概要

I 自治会・町内会の加入状況

1 自治会・町内会の加入率

アンケート回答を基に、自治会・町内会が組織されていない地域の存在も加味して算出した推計加入世帯数と調査対象時点である令和6年10月1日現在の総世帯数とを対比することにより、自治会・町内会の加入世帯数を推計した。

令和6年度 推計加入率60.6%（推計加入世帯数：455,725世帯／総世帯数752,362世帯）

<参考>

※令和3年度 推計加入率65.0%（推計加入世帯数：475,639世帯／総世帯数731,571世帯）

※平成30年度 推計加入率67.7%（推計加入世帯数：488,789世帯／総世帯数722,054世帯）

※平成28年度 推計加入率68.5%（推計加入世帯数：488,257世帯／総世帯数712,625世帯）

※平成26年度 推計加入率69.8%（推計加入世帯数：488,020世帯／総世帯数699,644世帯）

※平成25年度 推計加入率69.6%（推計加入世帯数：482,946世帯／総世帯数694,135世帯）

※平成24年度 推計加入率69.8%（推計加入世帯数：481,093世帯／総世帯数689,416世帯）

なお、全市の推計加入率と同様の方法により算出した行政区別の推計加入率は下記のとおりであるが、回答いただいた世帯数を基に機械的に算出したものであり、地域ごとの自治会・町内会組織の有無等の状況が反映されていないことなどから、一つの目安として取り扱いいただきたい。

<行政区別の推計加入率>

行政区(支所)	加入率
北区	61.7%
上京区	71.8%
左京区	66.6%
中京区	71.7%
東山区	70.9%
山科区	57.2%

行政区(支所)	加入率
下京区	64.8%
南区	53.2%
右京区	59.9%
西京区(全体)	47.3%
本所管内	42.7%
洛西支所管内	59.6%

行政区(支所)	加入率
伏見区(全体)	56.7%
本所管内	54.2%
深草支所管内	66.1%
醍醐支所管内	52.4%

<参考> 加入率算出の方法

- ① 回答票の加入世帯数と未加入世帯をそれぞれ合算し、回答対象地域の世帯数（加入世帯数＋未加入世帯数）を算出した。
- ② 学生マンション等の自治会・町内会が組織されていない地域（今回のアンケートの対象外地域）が全世帯の概ね1割程度（※）あると考えられることから、本市の総世帯数から1割を差し引いた世帯数について、①で算出した回答対象地域の加入世帯数を世帯数（加入世帯数＋未加入世帯数）で除した比率を乗じることにより、本市の加入世帯数を推計した。
（※）推計加入率算出の経年的な整合性も踏まえ、従来どおり1割と推計した。
- ③ 上記②で推計した本市の加入世帯数を本市の総世帯数で除して、加入率を算出した。

2 自治会・町内会ごとの加入世帯数

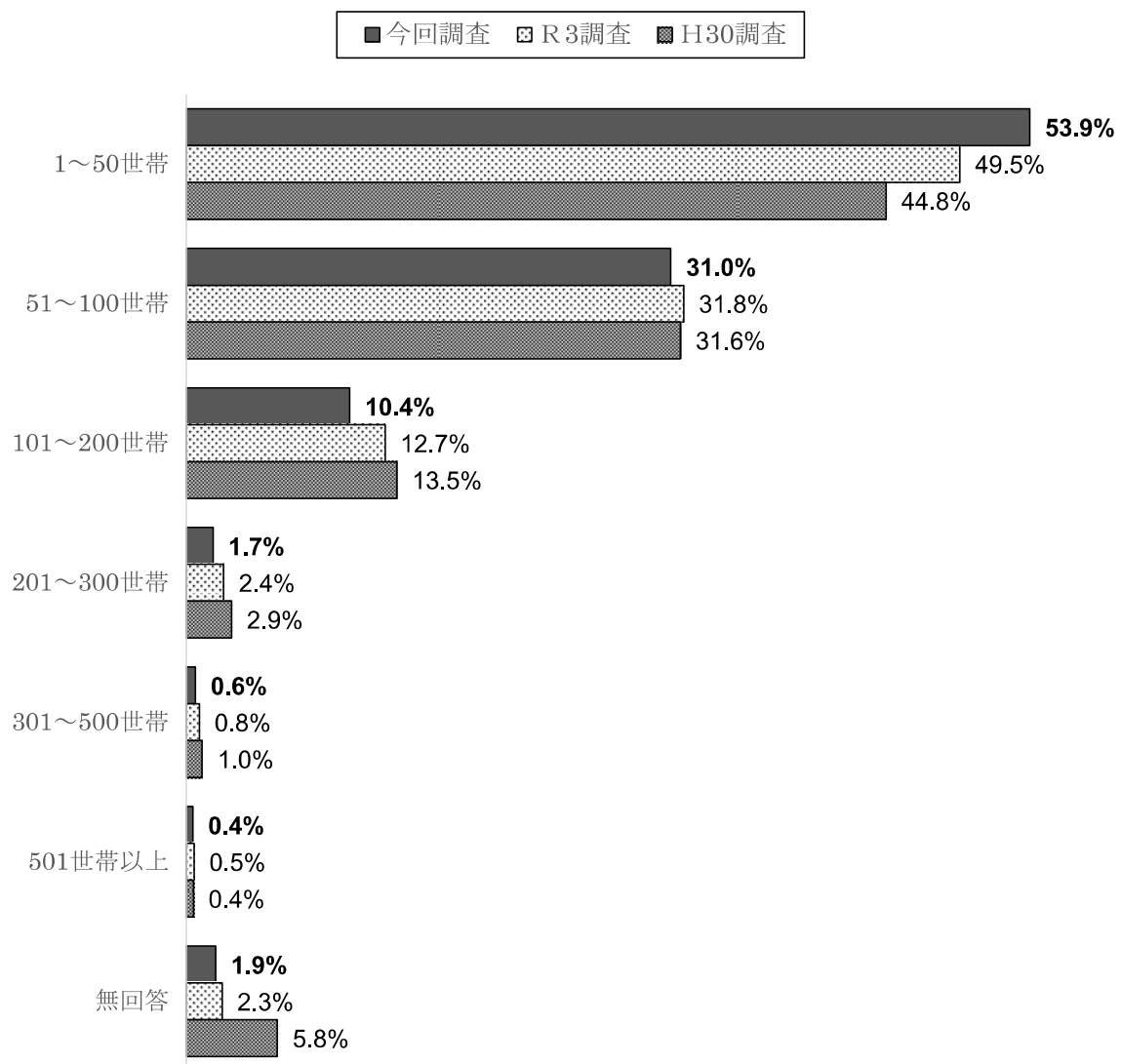
自治会・町内会ごとの加入世帯数は「1～50 世帯」(53.9%) が最も多く、次いで「51～100 世帯」(31.0%) となっている。前回の結果と比較してみると、「1～50 世帯」の自治会・町内会の割合が 4.4 ポイント増加している。

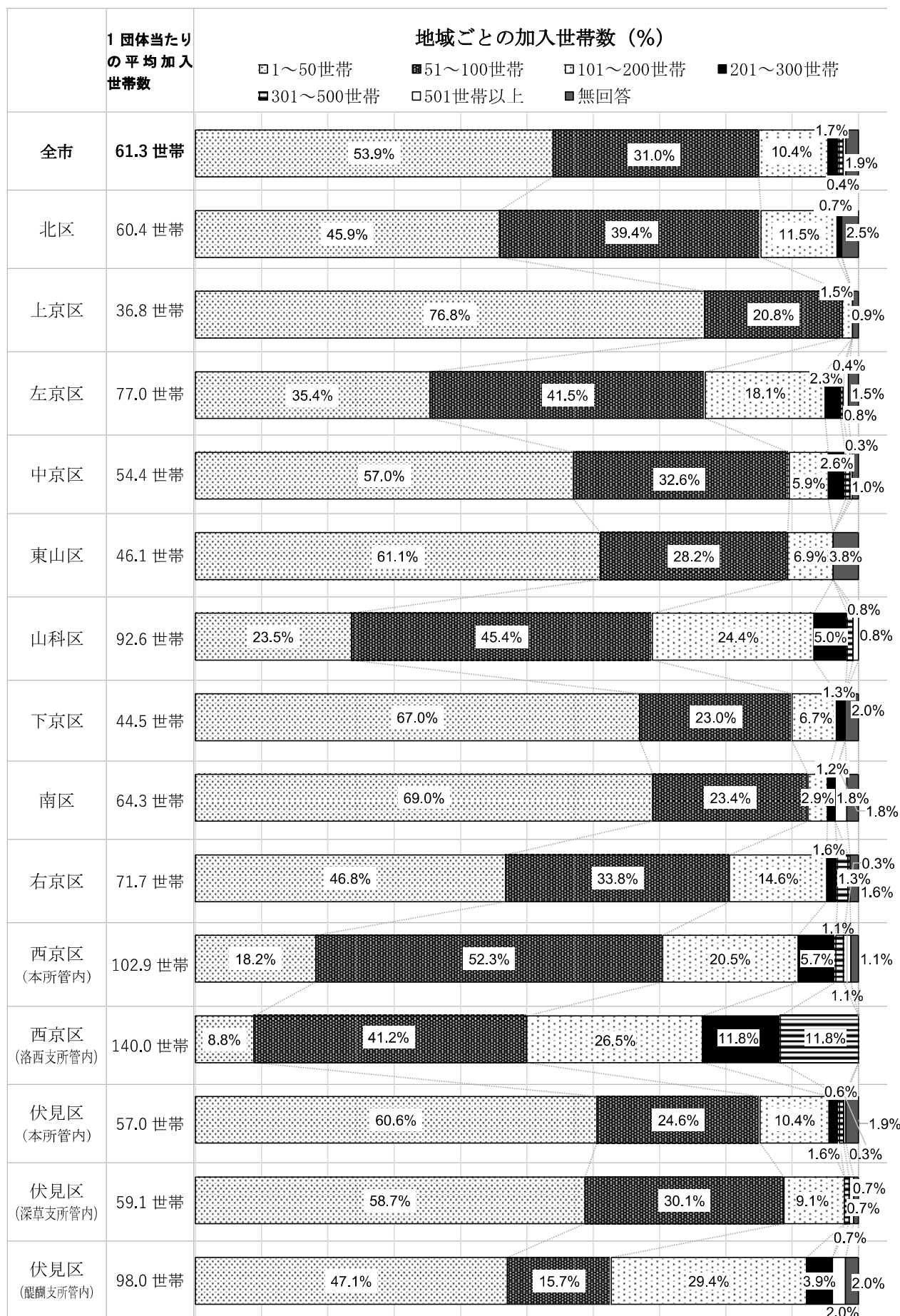
1 団体当たりの平均加入世帯数は全市では 61.3 世帯となっているが、行政区により違いがみられた。

なお、令和 3 年度は 67.4 世帯、平成 30 年度は 71.7 世帯、平成 28 年度は 74.6 世帯である。

自治会・町内会ごとの加入世帯数 (%)

今回調査 : N=2,862 R3調査 : N=3,226 H30調査 : N=3,345

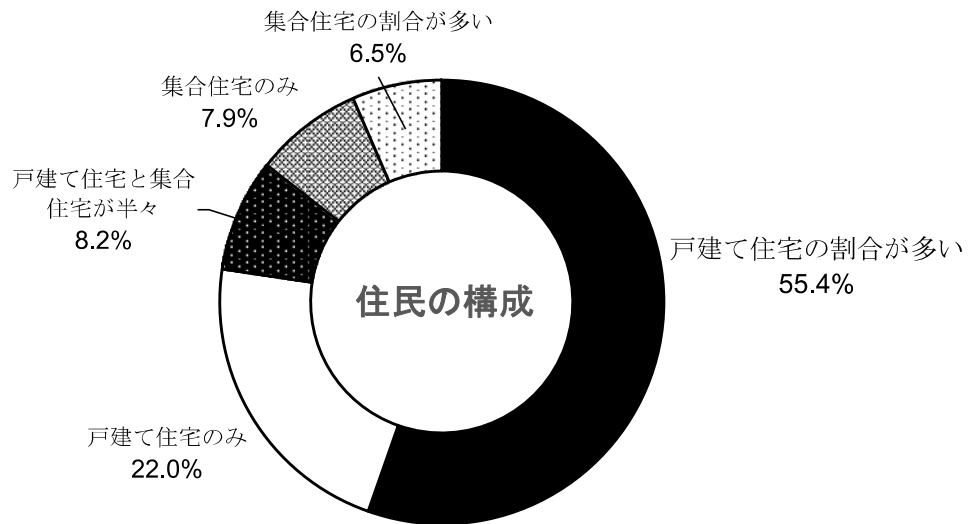




Ⅱ 自治会・町内会の状況について

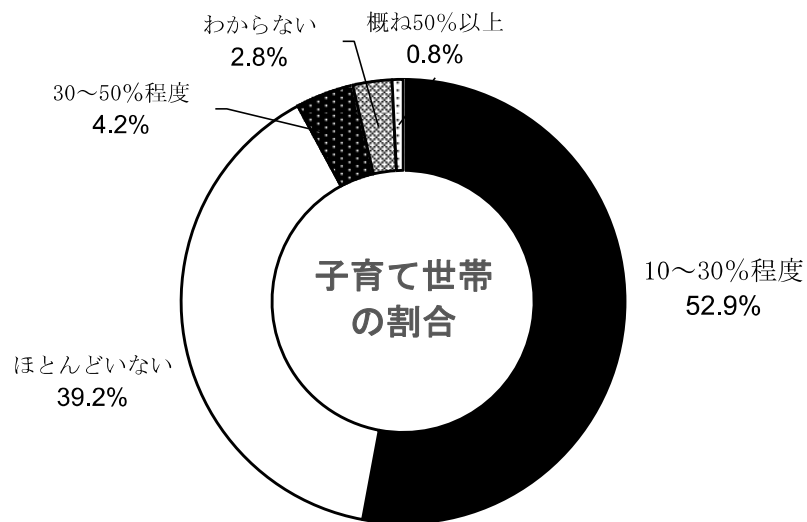
1 住宅の構成について

町内会のエリアの住宅の構成について尋ねたところ、「戸建て住宅の割合が多い」（55.4%）との回答が最も多く、次いで「戸建て住宅のみ」（22.0%）となっている。



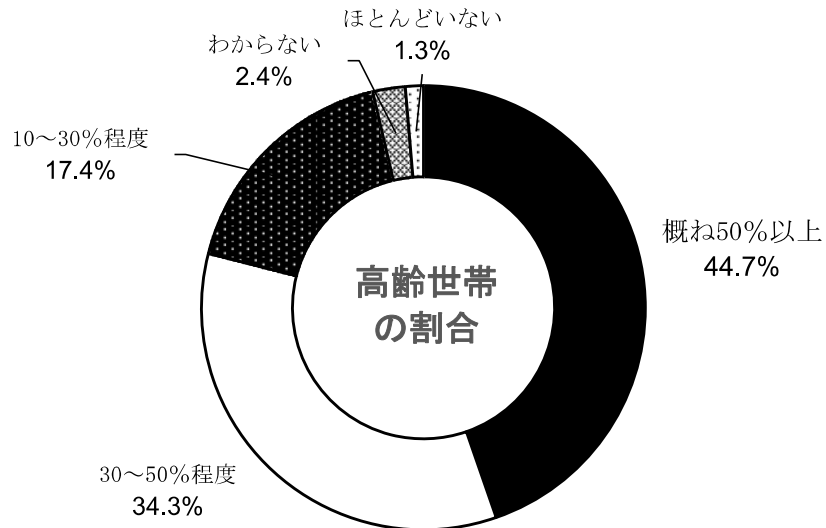
2 子育て世帯の割合について

町内会のエリアの「子育て世帯（概ね小学生以下）」の割合について尋ねたところ、「10～30%程度」（52.9%）との回答が最も多く、次いで、「ほとんどいない」（39.2%）となっている。



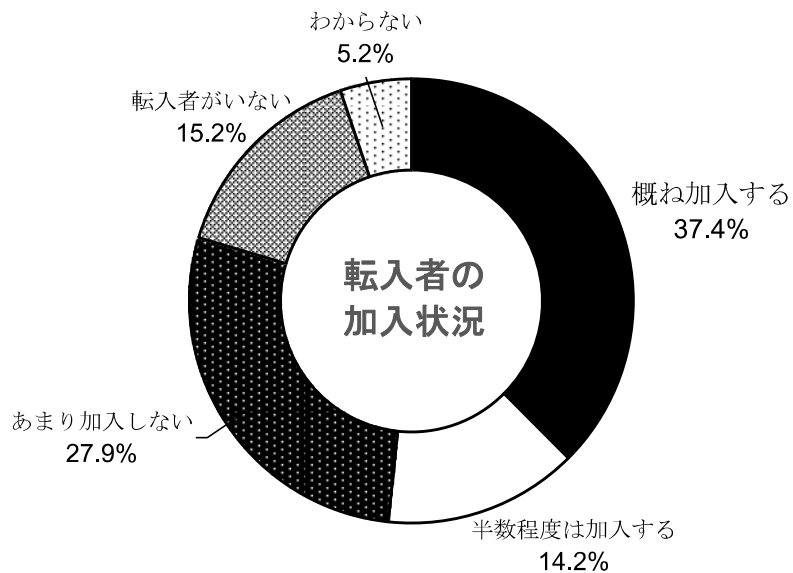
3 高齢世帯の割合について

町内会のエリアの「高齢世帯（概ね75歳以上）」の割合について尋ねたところ、「概ね50%以上」（44.7%）との回答が最も多く、次いで、「30～50%程度」（34.3%）となっている。



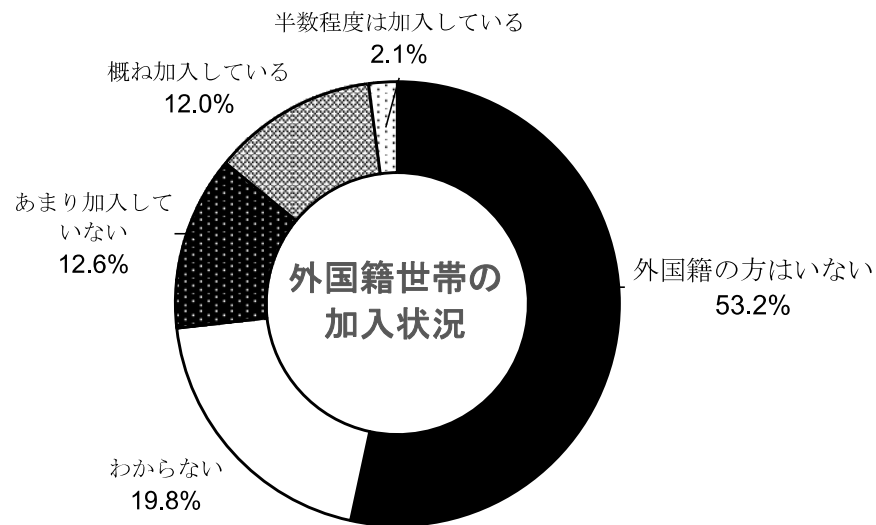
4 新規転入者の加入状況について

町内会の新規転入者の状況について尋ねたところ、「概ね加入する」（37.4%）との回答が最も多く、次いで「あまり加入しない」（27.9%）となっている。



5 外国籍世帯の加入状況について

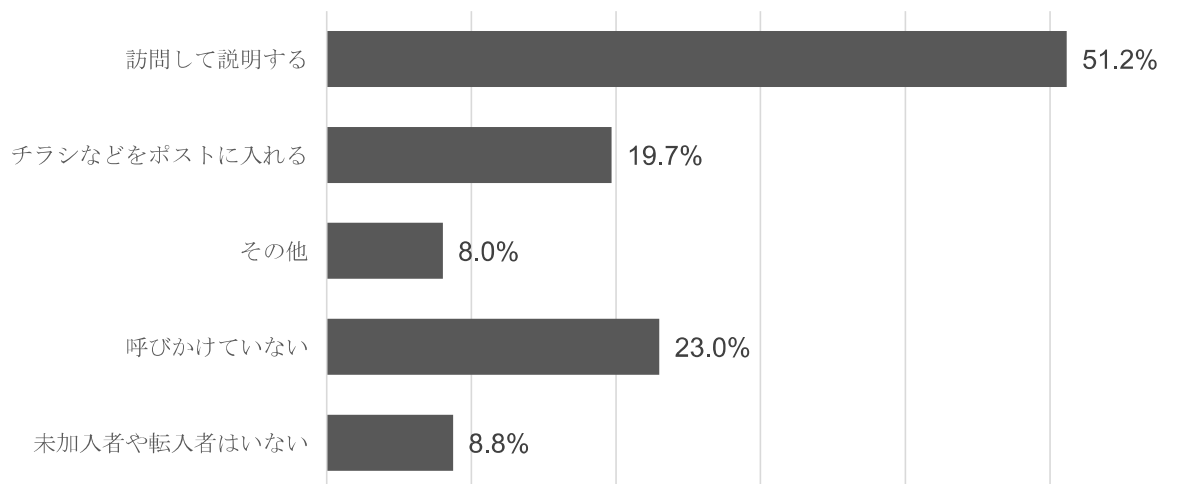
町内会への外国籍世帯の加入状況について尋ねたところ、「外国籍の方はいない」（53.2%）との回答が最も多く、次いで「わからない」（19.8%）となっている。



Ⅲ 町内会の運営状況について

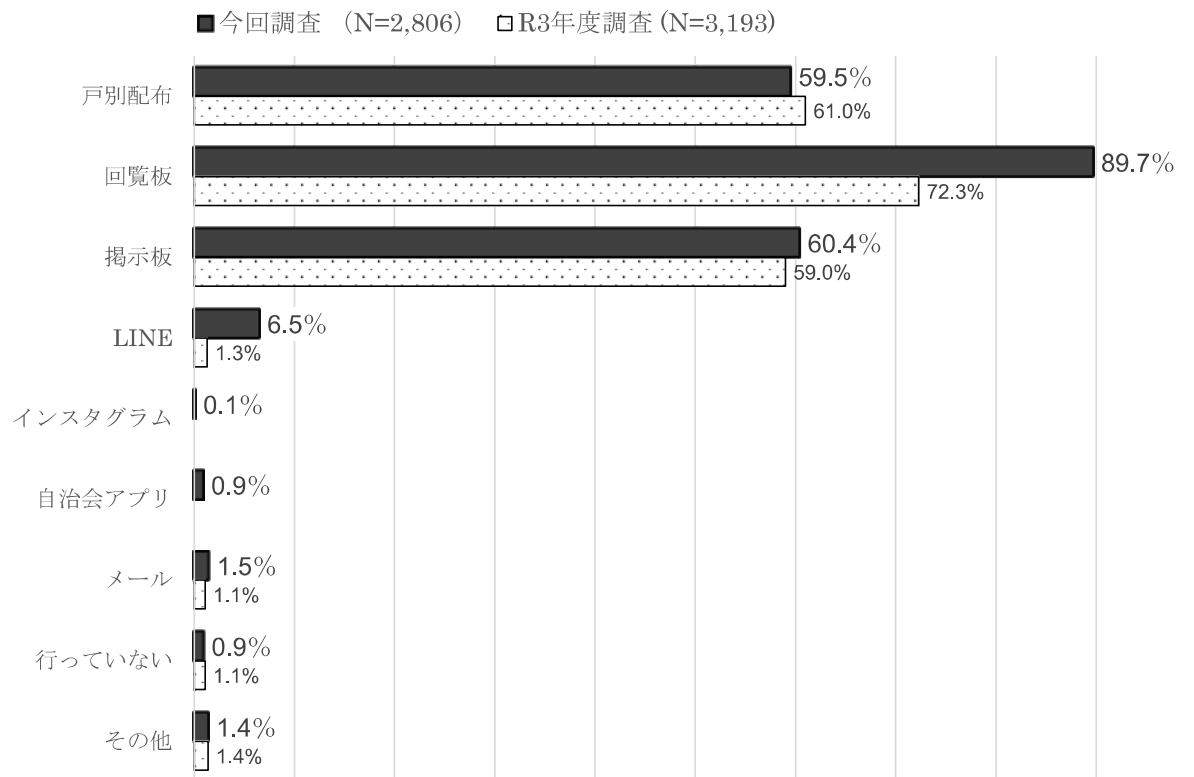
1 未加入者や転入者への呼びかけ方法について

未加入者や転入者への呼びかけ方法について尋ねたところ、「訪問して説明する」（51.2%）との回答が最も多く、次いで「呼びかけていない」（23.0%）となっている。



2 住民へ情報を伝える際に使う方法について

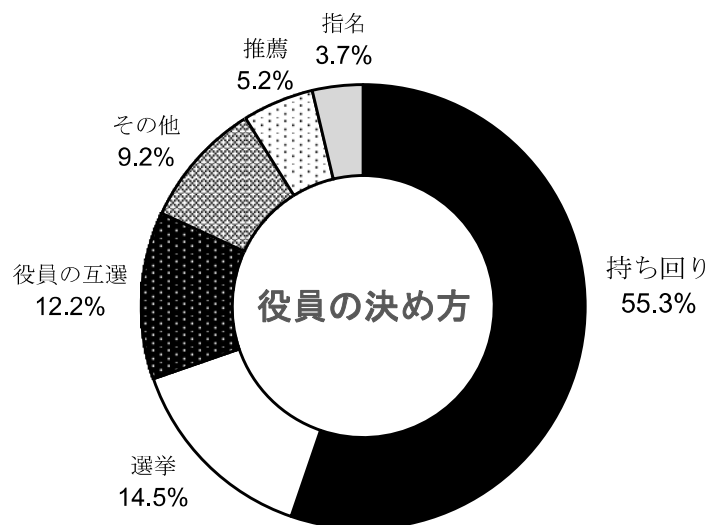
住民へ情報を伝える際に使う方法について尋ねたところ、「回覧板」(89.7%)との回答が最も多く、次いで、「掲示板」(60.4%)、「戸別配布」(59.5%)となっている。



3 町内会の役員（会長、副会長、会計など）について

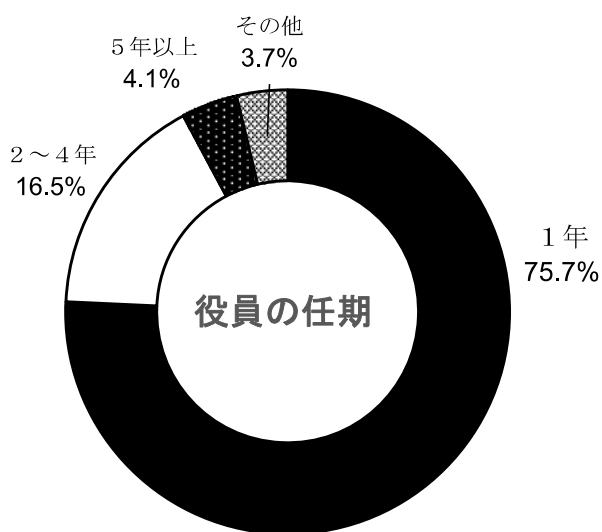
(1) 役員の決め方について

役員の決め方について尋ねたところ、「持ち回り」(55.3%)との回答が最も多く、次いで「選挙」(14.5%)となっている。



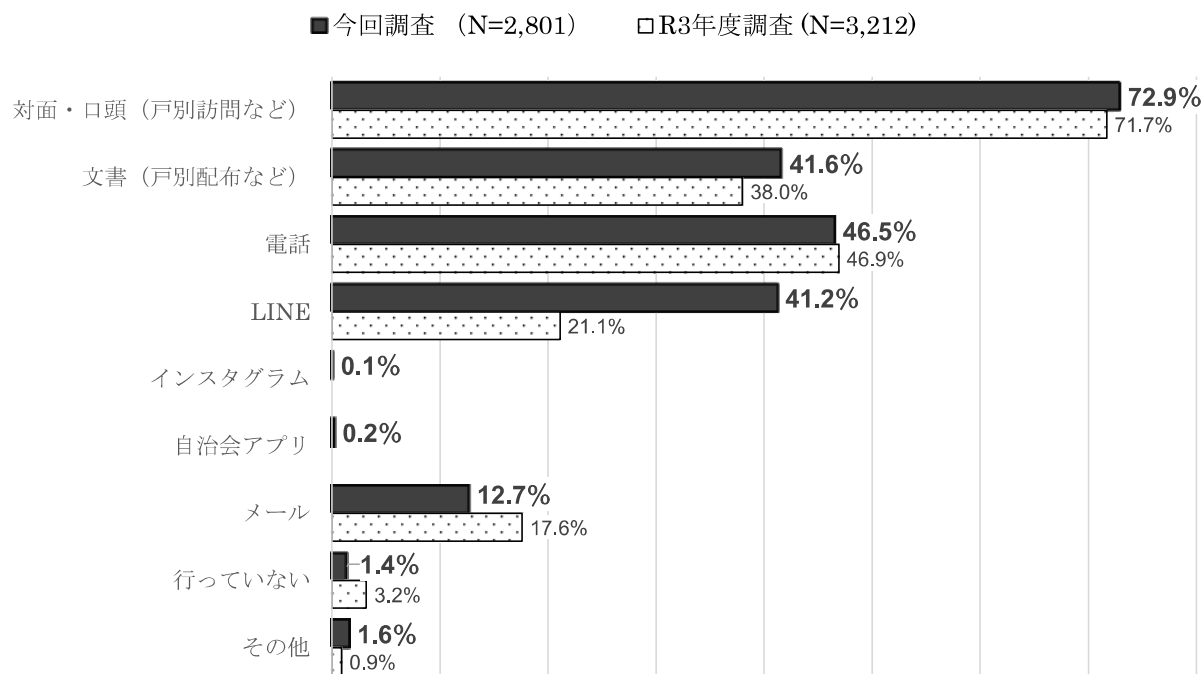
（２）役員の任期について

役員の任期について尋ねたところ、「１年」（75.7％）との回答が最も多く、次いで「２～４年」（16.5％）となっている。



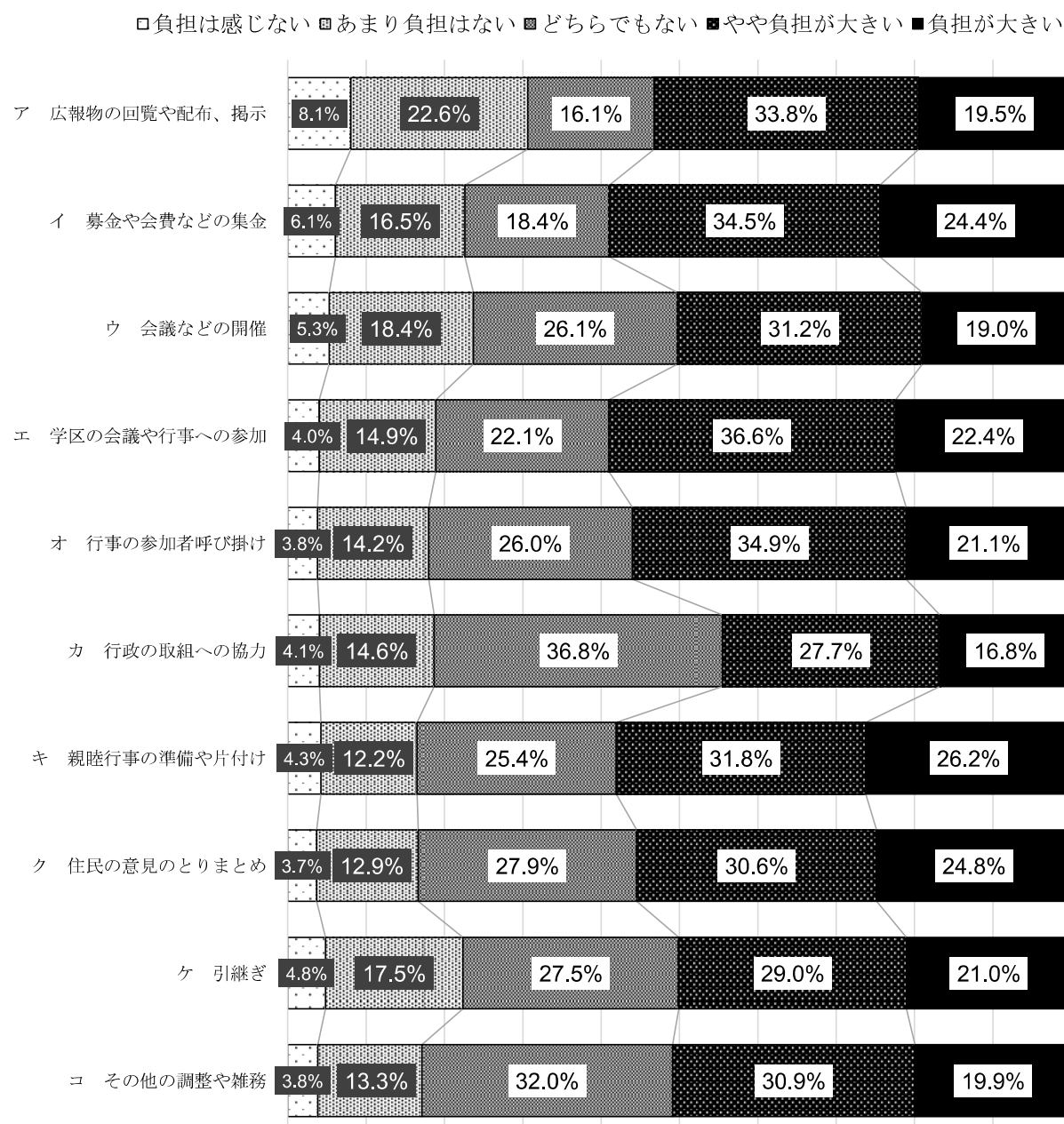
（３）役員同士の連絡手段について

役員同士の連絡手段について尋ねたところ、「対面・口頭（戸別訪問など）」（72.9％）が最も多く、次いで、「電話」（46.5％）、「文書（戸別配布など）」（41.6％）となっている。「LINE」（41.2％）の割合は、令和３年度調査と比較して約２倍に増加した。



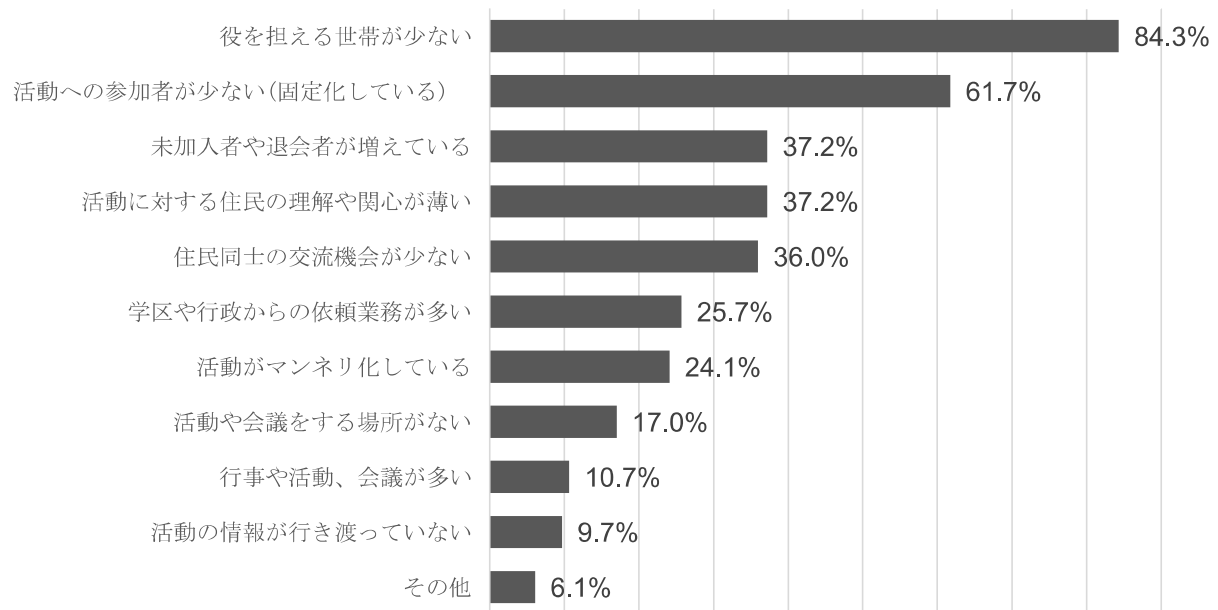
(4) 各職務の役員の負担の割合について

地域活動に係る役員の負担割合について尋ねたところ、「負担が大きい」、「やや負担が大きい」を選んだ割合は、「学区の会議や行事への参加」(59.0%) が最も高く、次いで「募金や会費などの集金」(58.9%)、「親睦行事の準備や片付け」(58.0%) となっている。



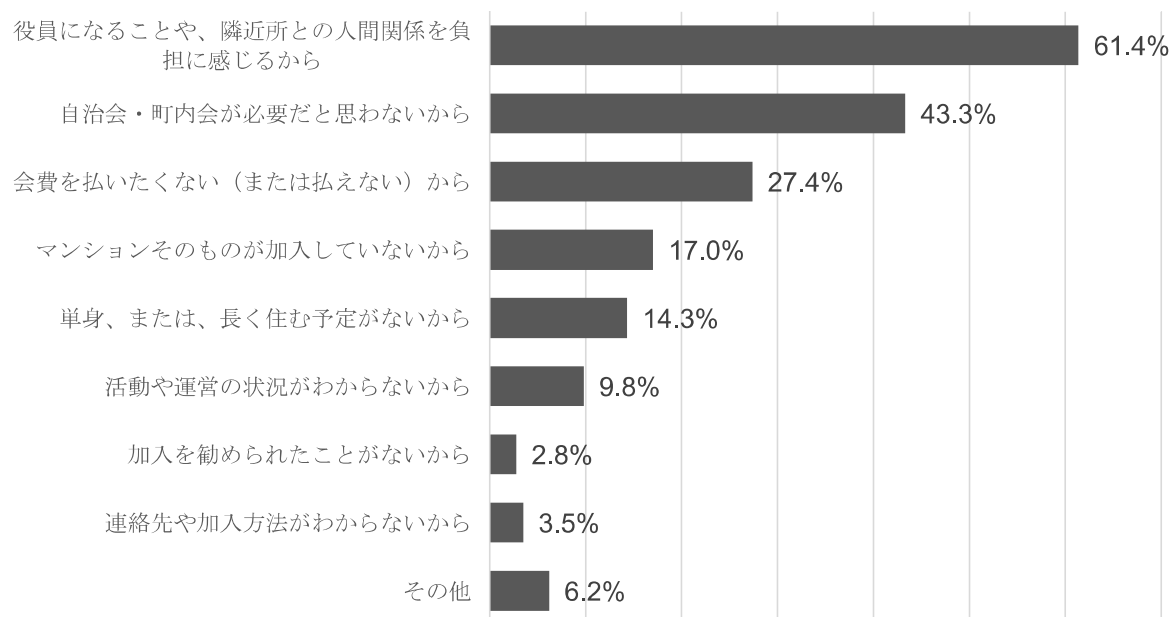
4 町内会の運営課題や困りごと

町内会の運営課題や困りごとについて尋ねたところ、「役を担える世帯が少ない」(84.3%)との回答が最も多く、次いで「活動への参加者が少ない(固定化している)」(61.7%)となっている。



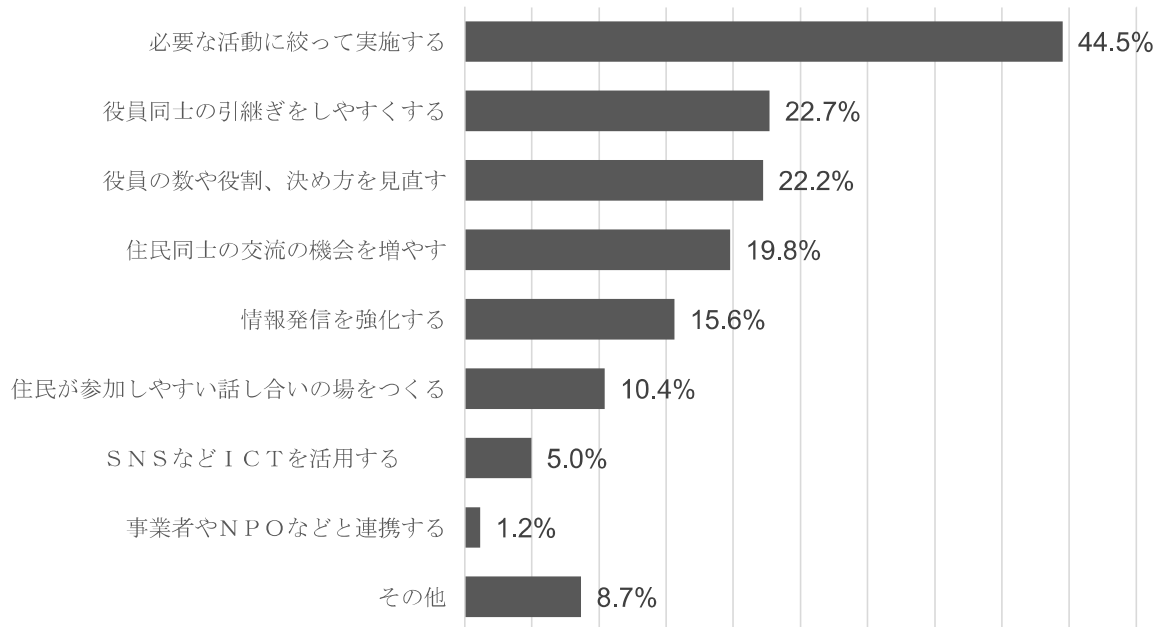
5 未加入者や退会者が増えている要因

前設問で「②未加入者や退会者が増えている」を選ばれた方に対し、未加入者や退会者が増えている要因について尋ねたところ、「役員になることや、隣近所との人間関係を負担に感じるから」(61.4%)との回答が最も多く、次いで「自治会・町内会が必要だと思わないから」(43.3%)となっている。

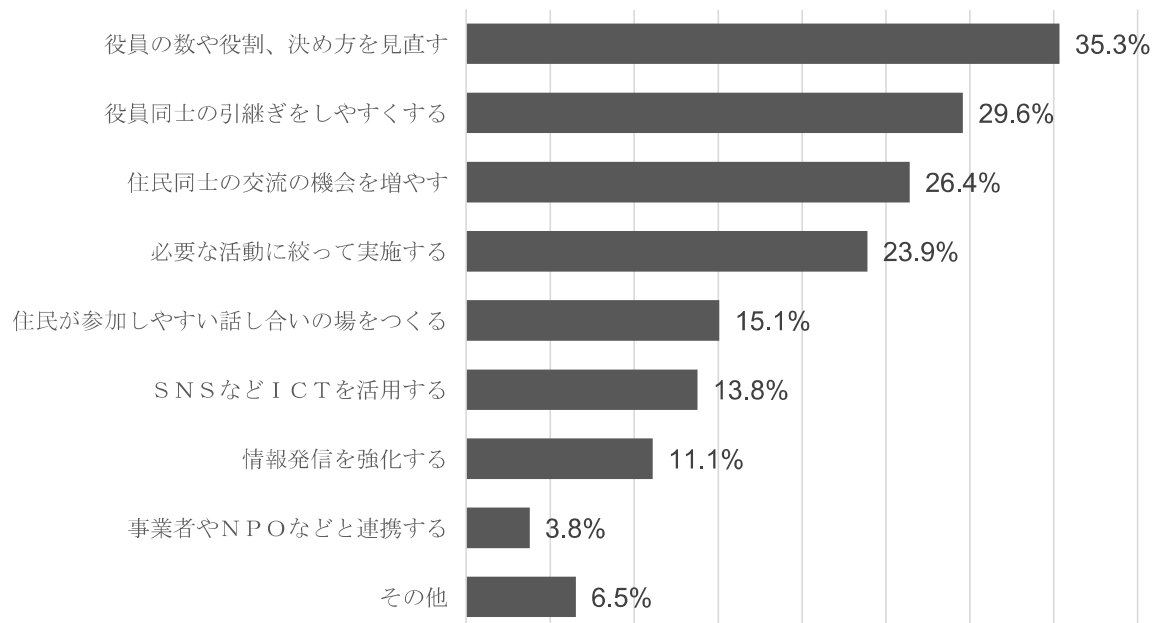


6 特に充実して取り組んでいる活動及び今後取り組みたい活動

特に充実して取り組んでいる活動について尋ねたところ、「必要な活動に絞って実施する」(44.5%)との回答が最も多く、次いで「役員同士の引継ぎをしやすいにする」(22.7%)となっている。



今後取り組みたい活動について尋ねたところ、「役員の数や役割、決め方を見直す」(35.3%)との回答が最も多く、次いで「役員同士の引継ぎをしやすいにする」(29.6%)となっている。

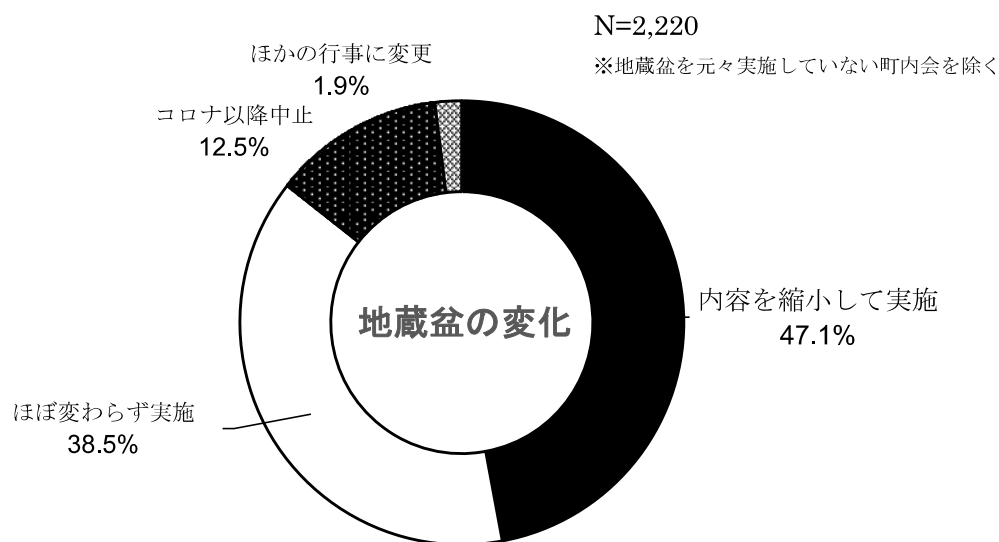


Ⅳ 町内会の交流・親睦行事について

1 コロナ禍前と現在の町内行事の変化について

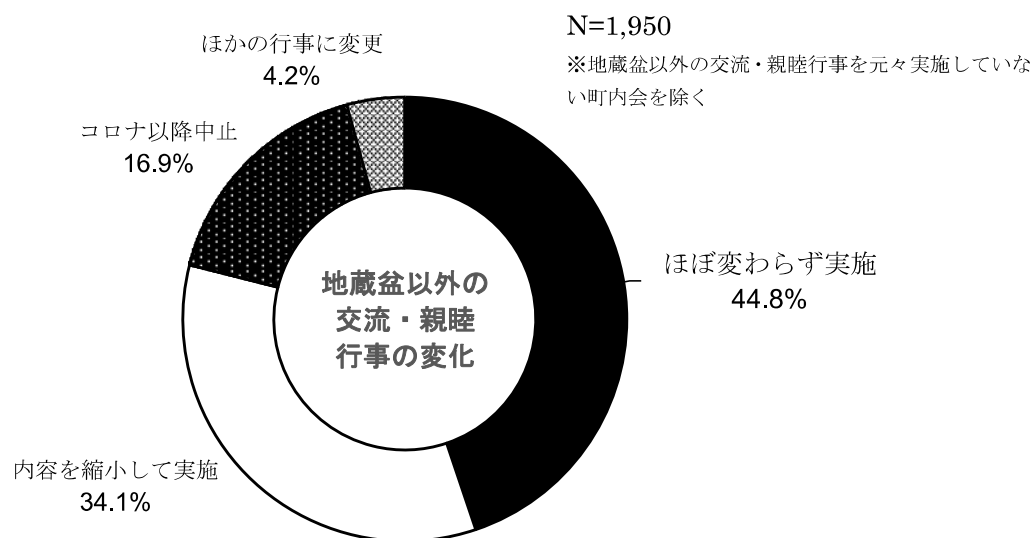
(1) 地蔵盆

地蔵盆の変化について尋ねたところ、「内容を縮小して実施」(47.1%)との回答が最も多く、次いで「ほぼ変わらず実施」(38.5%)となっている。



(2) 地蔵盆以外の交流・親睦行事

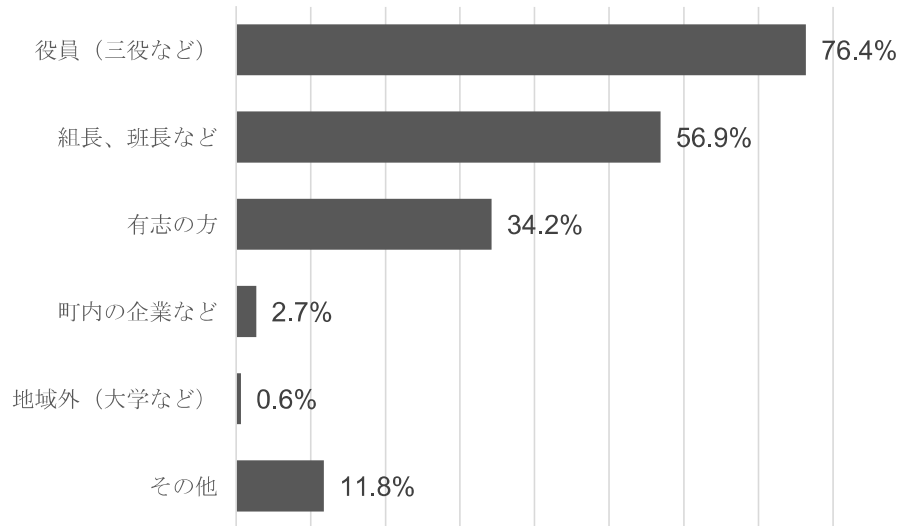
地蔵盆以外の交流・親睦行事の変化について尋ねたところ、「ほぼ変わらず実施」(44.8%)との回答が最も多く、次いで「内容を縮小して実施」(34.1%)となっている。



2 交流・親睦行事を支える人や主体について

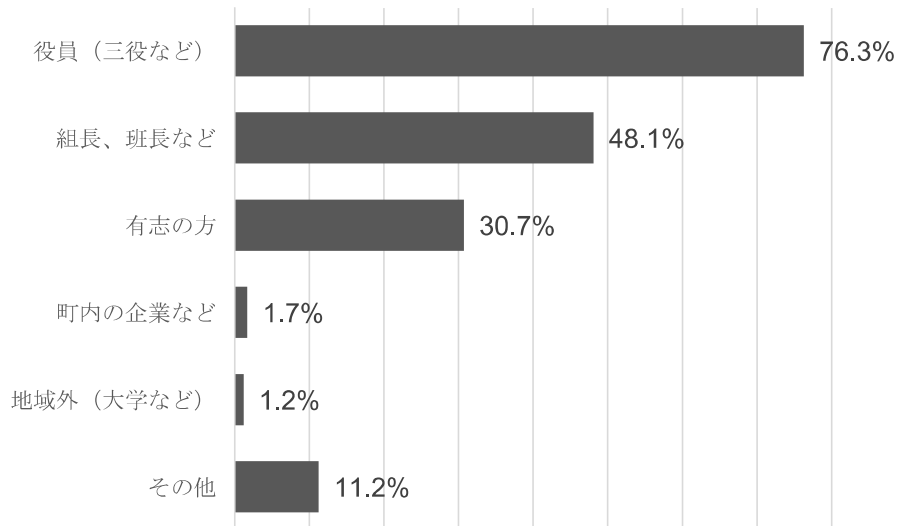
(1) 地蔵盆

地蔵盆を支える人や主体について尋ねたところ、「役員（三役など）」(76.4%) との回答が最も多く、次いで「組長、班長など」(56.9%) となっている。



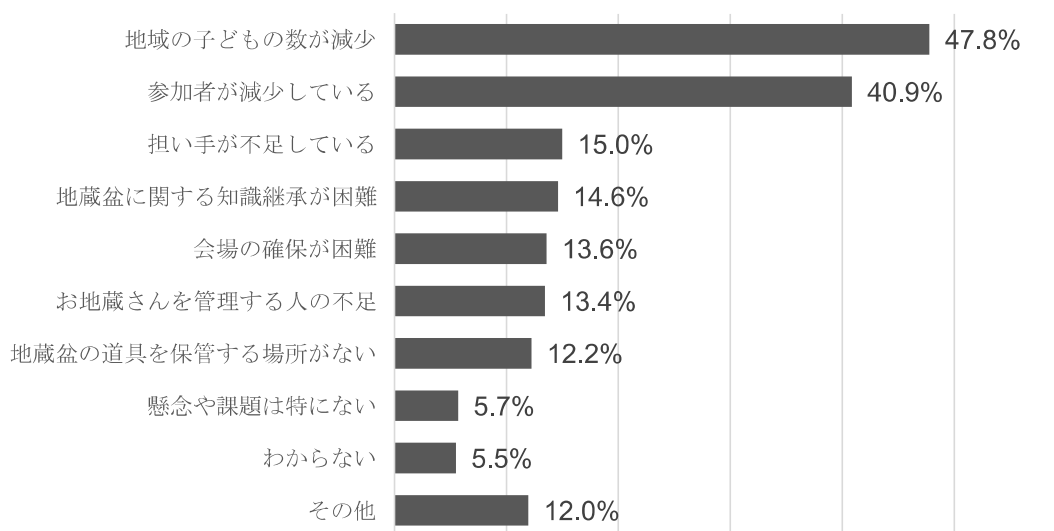
(2) 地蔵盆以外の交流・親睦行事

地蔵盆以外の交流・親睦行事を支える人や主体について尋ねたところ、「役員（三役など）」(76.3%) との回答が最も多く、次いで「組長、班長など」(48.1%) となっている。



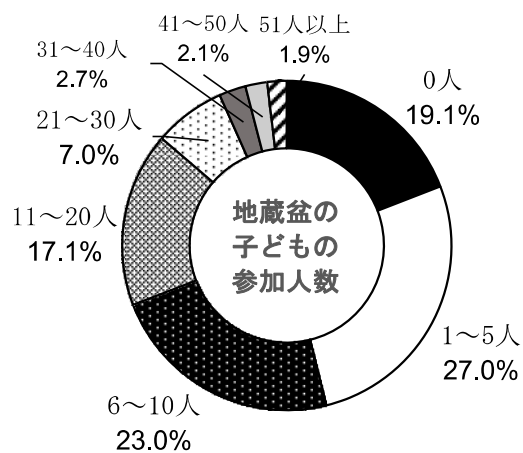
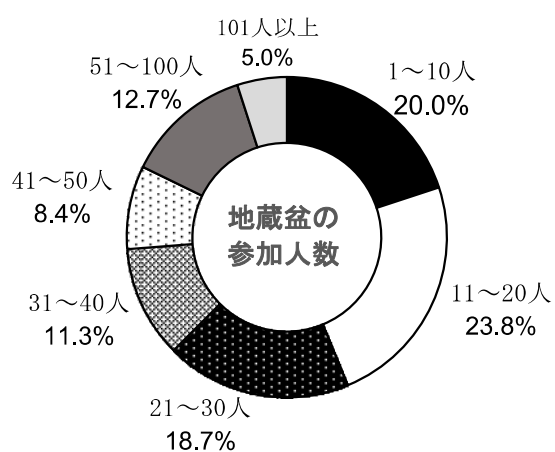
3 地蔵盆を継続するうえでの懸念や課題について

地蔵盆を継続するうえでの懸念や課題について尋ねたところ、「地域の子どもの数が減少」(47.8%)との回答が最も多く、次いで「参加者が減少している」(40.9%)となっている。



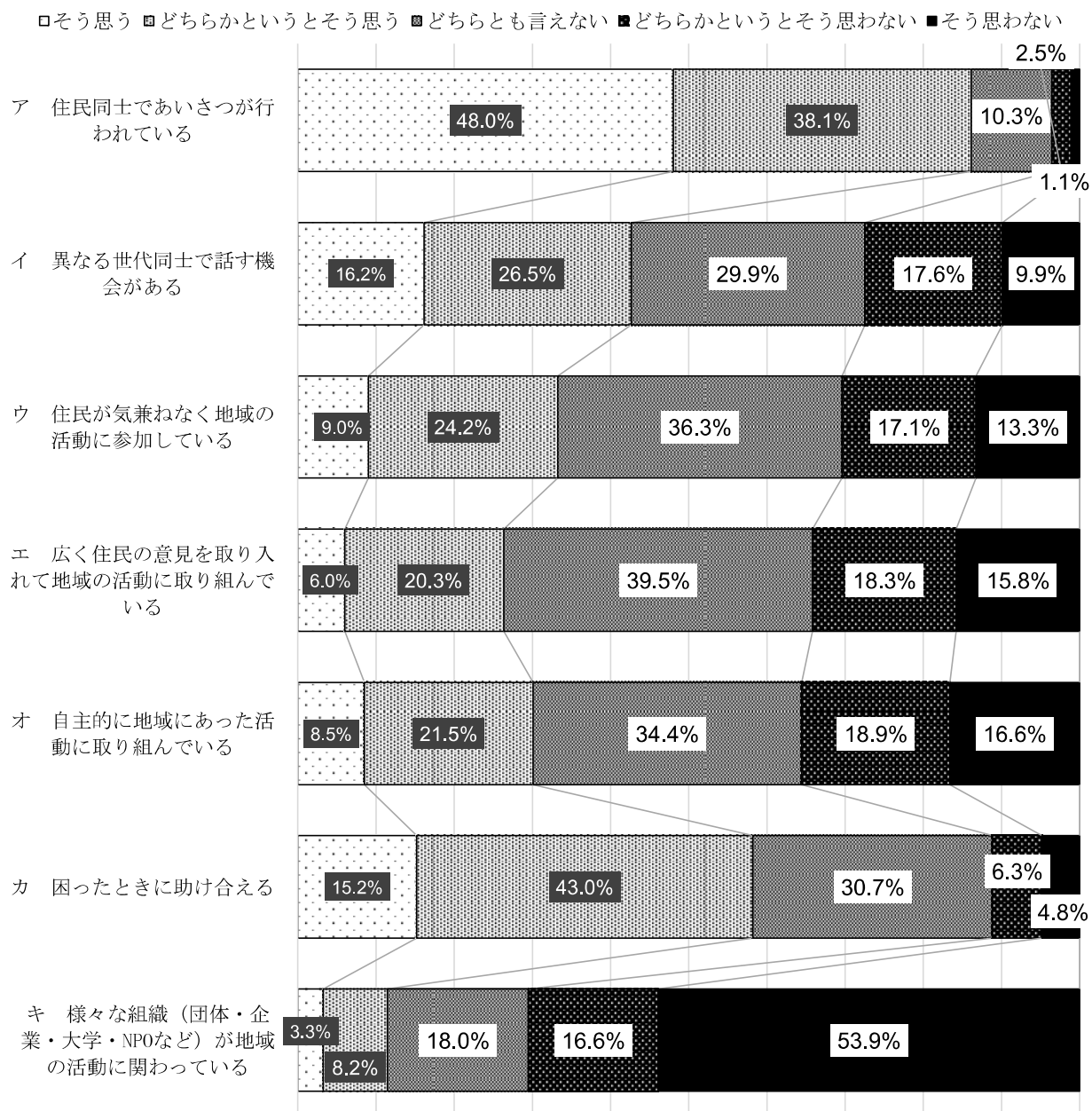
4 地蔵盆の参加人数について

地蔵盆の参加人数について尋ねたところ、「11～20 人」(23.8%)が最も多く、次いで「1～10 人」(20.0%)となっている。地蔵盆の子どもの参加人数については、「1～5 人」(27.0%)が最も多く、次いで「6～10 人」(23.0%)、「0 人」(19.1%)となっている。



V 町内の日常の様子について

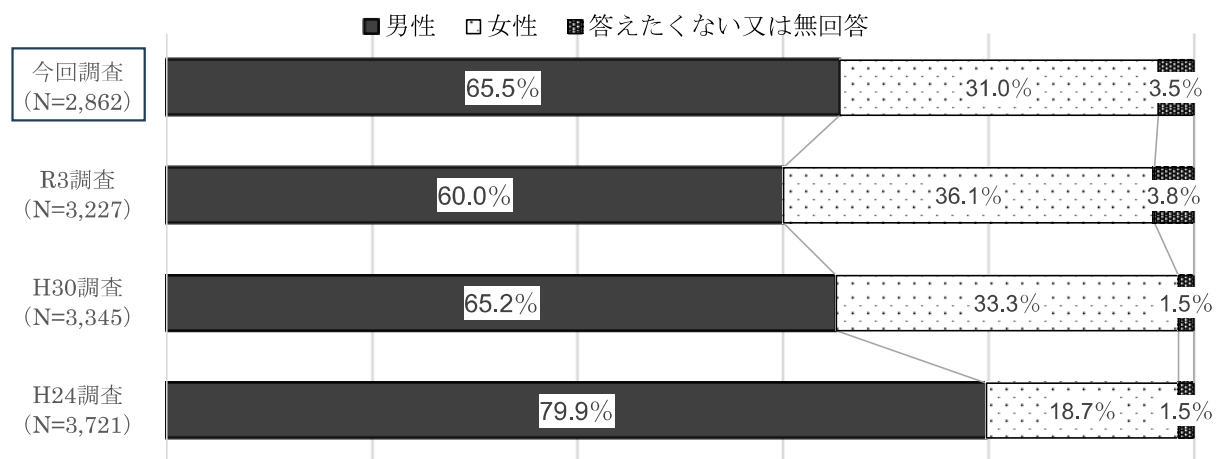
町内の日常の様子について、「住民同士であいさつがおこなわれている」については、「そう思う」(48.0%)と「どちらかというと思う」(38.1%)とした回答が多かった。「様々な組織が地域の活動に関わっている」については、「そう思わない」(53.9%)、「どちらかというと思わない」(16.6%)とした回答が多かった。



VI 回答者（町内会長）について

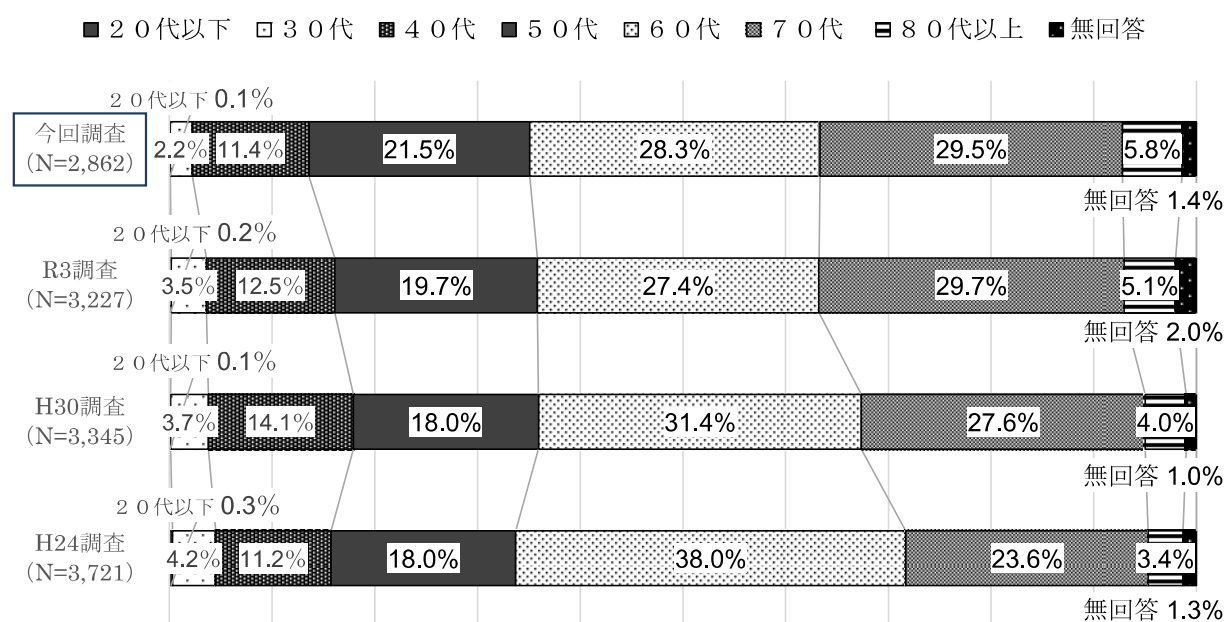
1 性別

性別は、「男性」が65.5%、「女性」が31.0%となっている。



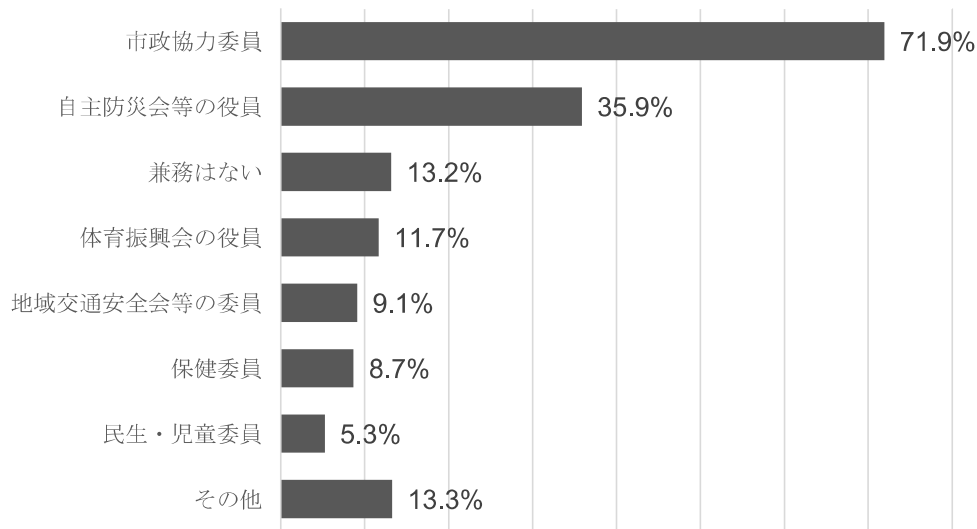
2 年齢

年齢は、「70代」(29.5%)が最も多く、次いで「60代」(28.3%)となっている。



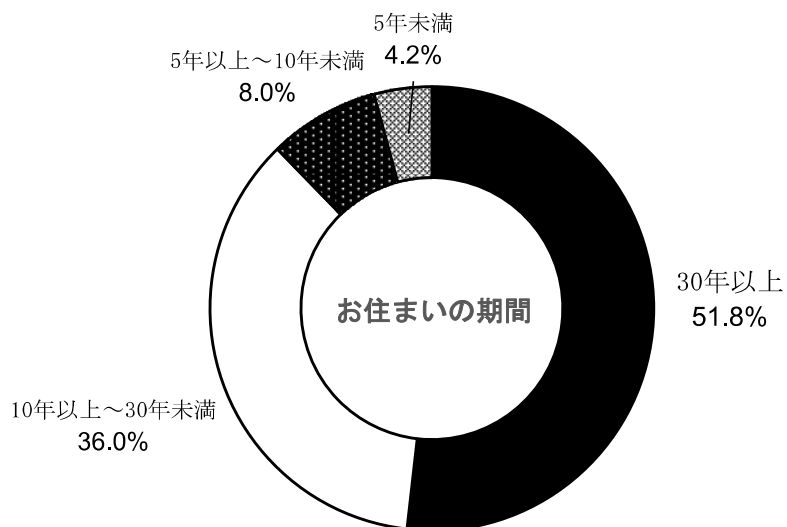
3 役の兼務

役の兼務状況について尋ねたところ、「市政協力委員」(71.9%) が最も多く、次いで「自主防災会等の役員」(35.9%) となっている。



4 現在の町内にお住いの期間

現在の町内にお住いの年数は、「30年以上」(51.8%) が最も多く、次いで「10年以上～30年未満」(36.0%) となっている。



(参考) 令和6年度 自治会・町内会アンケートの設問



令和6年度 京都市自治会・町内会アンケート

本アンケートは、自治会・町内会長の皆様から地域の実情についてお伺いし、今後の施策に反映していくために実施するものです。10分程度でご回答いただけますので、ご協力よろしくお願いいたします。
なお、Webフォームからもご回答いただけますので、依頼状に記載の検索ワードもしくは二次元コードからご回答ください。

問1. あなたの自治会・町内会（以下、「町内会」）について、以下の項目にお答えください。

1. 所在地	_____区 _____学区 住所: _____ (注1)住所表記による町名までを記入してください。 (注2)複数の町にまたがる場合は、属する住所表記による町名を全て列記してください。 (例) ○○町、△町の一部
2. 貴会の名称	(例) ○○町内会、◇◇自治会 _____
3. 加入世帯数 未加入世帯数 (必ず記入ください)	加入世帯数: _____世帯 (令和6年10月1日時点) 未加入世帯数: _____世帯 (分かる範囲のおおよその数で結構です) (注1)マンションやアパートなど、建物ごと加入している場合は、その棟の全世帯(全戸)が加入しているとみなして、全世帯数を加入世帯数に含めてください。 (注2)空き家や別荘など居住実態のない場合は、加入・未加入世帯数のいずれにも含めないでください。 (注3)未加入世帯数が無記入になっている場合は「0」とみなします。

問2. あなたのお住まいの地域や町内会の状況についてお答えください。

(各設問の右の回答欄に該当する番号を記入してください。)

1. あなたの町内会のエリアの「住宅の構成」について、あてはまるものを1つ選んでください。

- ①戸建て住宅のみ ②戸建て住宅の割合が多い ③戸建て住宅と集合住宅の割合が同程度 ④集合住宅の割合が多い ⑤集合住宅のみ



2. あなたの町内会のエリアの「子育て世帯（概ね小学生以下）」の割合について、最も近いと思う番号を1つ選んでください。

- ①概ね50%以上 ②30~50%程度 ③10~30%程度 ④ほとんどいない ⑤わからない

3. あなたの町内会のエリアの「高齢世帯（概ね75歳以上）」の割合について、最も近いと思う番号を1つ選んでください。

- ①概ね50%以上 ②30~50%程度 ③10~30%程度 ④ほとんどいない ⑤わからない

4. あなたの町内会への新規転入者の加入状況について、あてはまるものを1つ選んでください。

- ①概ね加入する ②半数程度は加入する ③あまり加入しない
④転入者がいない ⑤わからない

5. あなたの町内会への外国籍世帯の加入状況について、あてはまるものを1つ選んでください。

- ①概ね加入している ②半数程度は加入している ③あまり加入していない
④外国籍の方はいない ⑤わからない

回答欄



問3. あなたの町内会の運営状況についてお答えください。

1. 未加入者や転入者への呼びかけ方法について、あてはまるものを全て選んでください。

- ①チラシなどをポストに入れる ②訪問して説明する ③その他
④呼びかけていない ⑤未加入者や転入者はいない

2. 住民へ情報を伝える際に使う方法として、あてはまるものを全て選んでください。

- ①戸別配布 ②回覧板 ③掲示板
④LINE ⑤インスタグラム ⑥自治会アプリ「いちのいち」など ⑦メール
⑧行っていない ⑨その他

3. 町内会の役員（会長、副会長、会計など）について

(1) 役員の決め方について、あてはまるものを1つ選んでください。

- ①選挙 ②持ち回り ③役員の互選 ④指名 ⑤推薦 ⑥その他

(2) 役員の就任期間について、あてはまるものを1つ選んでください。

- ①1年 ②2～4年 ③5年以上 ④その他

(3) 役員同士の連絡手段について、あてはまるものを全て選んでください。

- ①対面・口頭（戸別訪問など） ②文書（戸別配布など） ③電話
④LINE ⑤インスタグラム ⑥自治会アプリ「いちのいち」など ⑦メール
⑧行っていない ⑨その他

(4) 各職務の役員の負担の割合について、最もあてはまるものをそれぞれ1つ選び、枠内に「O」を記入してください。

	負担は 感じない	あまり 負担はない	どちら でもない	やや負担 が大きい	負担が 大きい
ア 広報物の回覧や配布、掲示					
イ 募金や会費などの集金					
ウ 会議などの開催					
エ 学区の会議や行事への参加					
オ 行事の参加者呼び掛け					
カ 行政の取組への協力					
キ 親睦行事の準備や片付け					
ク 住民の意見のとりまとめ					
ケ 引継ぎ					
コ その他の調整や雑務					

4. 町内会の運営課題や困りごとについて、あてはまるものを全て選んでください。

- ①役を担える世帯が少ない ②未加入者や退会者が増えている
③活動への参加者が少ない（固定化している） ④活動がマンネリ化している
⑤活動に対する住民の理解や関心が薄い ⑥住民同士の交流機会が少ない
⑦活動や会議をする場所がない ⑧行事や活動、会議が多い
⑨学区や行政からの依頼業務が多い ⑩活動の情報が行き渡っていない
⑪その他



残りあと半分です



5. 前設問で「②未加入者や退会者が増えている」を選ばれた方にお尋ねします。
未加入者や退会者が増えている要因について、考えられるものを全て選んでください。

- ①役員になることや、隣近所との人間関係を負担に感じるから
②会費を払いたくない(または払えない)から
③自治会・町内会が必要だと思わないから
④単身、または、長く住む予定がないから
⑤マンションそのものが加入していないから
⑥活動や運営の状況がわからないから
⑦加入を勧められたことがないから
⑧連絡先や加入方法がわからないから
⑨その他

6. 町内会の活動の中で、特に充実・工夫して取り組んでいる活動及び今後取り組みたい活動について、あてはまるものを全て選んでください。

- ①情報発信を強化する
②住民が参加しやすい話し合いの場をつくる
③事業者やNPOなどと連携する
④必要な活動に絞って実施する
⑤その他

②SNSなどICTを活用する

④住民同士の交流の機会を増やす

⑥役員の数や役割、決め方を見直す

⑧役員同士の引継ぎをしやすくする

取り組んでいる活動

取り組みたい活動

問4. あなたの町内会における地蔵盆やお祭りなど、世代を超えて参加できる交流・親睦行事等についてお答えください。

1. コロナ禍前と現在の町内行事の変化について、あてはまるものを1つ選んでください。

(1) 地蔵盆

- ①ほぼ変わらず実施
②コロナで中止して復活していない
③交流内容を縮小して実施
④元々実施していない
⑤ほかの交流・親睦行事に変更(統合を含む。)

(2) 地蔵盆以外の交流・親睦行事

- ①ほぼ変わらず実施
②コロナで中止して復活していない
③交流内容を縮小して実施
④元々実施していない
⑤ほかの交流・親睦行事に変更(統合を含む。)

2. 交流・親睦行事等を支える人や主体について、あてはまるものを全て選んでください。

(1) 地蔵盆

- ①役員(三役など)
②組長、班長など
③有志の方
④町内の企業など
⑤地域外(大学など)
⑥その他

(2) 地蔵盆以外の交流・親睦行事

- ①役員(三役など)
②組長、班長など
③有志の方
④町内の企業など
⑤地域外(大学など)
⑥その他

3. 地蔵盆を継続するうえでの懸念や課題について、あてはまるものをすべて選んでください。

- ①参加者が減少している
②地域の子どもの数が減少している
③担い手が不足している
④会場の確保が困難
⑤地蔵盆の道具を保管する場所がない
⑥お地蔵さんを日常的に管理(お世話)する人が不足している
⑦地蔵盆に関する知識継承が困難
⑧懸念や課題は特にな
⑨わからない
⑩その他

4. 地蔵盆を継続するうえでの取組や心がけていることがございましたら、以下に記入をお願いします。

<例:行事の数を限定して役員の負担減らす、マンションの住民にも声をかけて手伝ってもらう、消火訓練等の行事と併せて実施して住民の関心を高める、など>

5. 令和6年度に地蔵盆に参加された方について、それぞれ大体の人数で結構ですので数を記入してください。(実施していない場合は回答不要です)

大人約_____人、子ども(中学生以下)約_____人

問5. あなたの町内の日常の様子について、それぞれ最もあてはまるものを1つ選び、枠内に「○」を記入してください。



	そう思う	どちらかというと 思う	どちらとも 言えない	どちらか とそう 思わない	そう 思わ ない
ア 住民同士であいさつが行われている					
イ 異なる世代同士で話す機会がある					
ウ 住民が気兼ねなく地域の活動に参加している					
エ 広く住民の意見を取り入れて地域の活動に取り組んでいる					
オ 自主的に地域にあった活動に取り組んでいる					
カ 困ったときに助け合える					
キ 様々な組織(団体・企業・大学・NPO など)が地域の活動に関わっている					

問6. ご回答の方(町内会長)の情報について、差し支えない範囲でお答えください。

1. 性別	①男性 ②女性 ③答えたくない
2. 年齢	①20代以下 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代 ⑥70代 ⑦80代以上
3. 役の兼務	他の役職の兼務状況について、あてはまるものを全て選んでください。 ①市政協力委員 ②民生・児童委員 ③保健委員 ④体育振興会の役員 ⑤地域交通安全会等の委員 ⑥自主防災会等の役員 ⑦兼務はない ⑧その他()
4. 現在の町内に お住まいの期間	①5年未満 ②5年以上～10年未満 ③10年以上～30年未満 ④30年以上

◆町内会の運営課題や困りごとに対して取り組まれていることや、地域活動に参加しやすい工夫、引継ぎや広報における工夫など、地域内で工夫して実施されていることがございましたら、以下に記入をお願いします。

◆特徴的な取組を実施されている自治会・町内会については、他の地域の参考にするため、さらに詳しくお話を聞かせていただく場合がございます。

今後、職員から直接連絡しても差し支えない方は、下記に連絡先をご記入ください。

お名前		電話番号	() -
メールアドレス			

※ご記入いただいた情報は、アンケート調査以外の目的には使用いたしません。

質問は、以上です。アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました！

